

新型EV軽トラック「ASF2.0PT」プレ寄贈式を実施

—第44回知名町産業フェア&土木フェスタにASF2.0PT出展—

ASF株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:飯塚 裕恭)は、2025年11月23日に開催された「第44回知名町産業フェア&土木フェスタ」において、新型EV軽トラック「ASF2.0PT」を出展しました。

また同日、ASF2.0PTの生産委託先である 柳州五菱新能源汽车有限公司 の親会社、広西汽車集团有限公司 副総経理 魏 明剛(ウェイ・ミンガン)氏 立会いのもと、鹿児島県大島郡知名町役場へのプレ寄贈式を実施いたしました。



プレ寄贈式の様子

左:知名町長 今井力夫氏

右:広西汽車集团有限公司

副総経理 魏 明剛(ウェイ・ミンガン)氏



新型EV軽トラック:ASF2.0PT

※2025年度 来冬発売予定

本プレ寄贈式は、「ASF2.0PT」の本格販売に先立ち、モニター車両として同町へ5台を寄贈予定であることを踏まえ、フェア開催に合わせて行われたものです。



販売店情報は
こちら

ASF株式会社

お問い合わせは
こちら



【新型EV軽トラック: ASF2.0PT 寄贈の背景】

エネルギーの有効利用や地球温暖化対策の観点から、世界的に電動車への注目が高まっています。日本政府も「2035年までに乗用車の新車販売を電動車(EV、PHEV、HEV、FCV)100%とする」という目標を掲げ、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを加速させています。

沖永良部島は台風常襲地帯に位置し、近年では大型化する台風の影響により、船舶の欠航による物資不足や、生活インフラの損壊・停電が頻発するなど、気候変動が島民生活へ与える影響が一層深刻化しています。

こうした背景から、島の自然と共生し持続可能な地域を目指すためには、温暖化防止に向けたゼロカーボンの実現が不可欠です。

自動車のEV化は、島民の生活に直結するガソリン価格高騰の影響を軽減するとともに、豊かな自然環境の保全にも寄与します。特に沖永良部島で利用率の高い軽トラックは、農業をはじめ、住民の日常生活の移動手段として幅広く活用されており、家と農場、集落間などの短時間・短距離移動はEVとの親和性が高く、ゼロカーボン化に直結する領域です。

ASF株式会社は、2024年度より知名町と連携し、「ゼロカーボンアイランドおきのえらぶ」構想の一環として、EV軽バン「ASF2.0」の貸与・寄贈を通じたゼロカーボンの取り組みを進めてきました。

今回の新型EV軽トラック「ASF2.0PT」も、島内物流の効率化、地域経済の活性化、そしてゼロカーボン化のさらなる推進に貢献することを目指しています。

今後は、モニター運用による実証を重ねながら、沖永良部島での本格導入および販売拡大を段階的に進めてまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

ASF株式会社 広報担当 (営業部 奥田)

E-mail: okuda@asf-ev.com

知名町役場企画振興課(担当: 西)

E-mail(官公庁): kikakus@town.china.lg.jp

E-mail(その他): china08@town.china.lg.jp

【イベント時の様子】



産業フェアに展示されるASF2.0とASF2.0PT



左: 広西汽車集团有限公司
副総経理 魏 明刚(ウェイ・ミンガン)氏
右: 沖永良部島でのASF販売代理店
代表取締役 太様



産業フェア出展風景



産業フェア出展風景

【今井町長との対談の様子】



知名町長 今井様と、柳州五菱新能源汽车
有限公司およびASFとの三者対談



知名町役場、柳州五菱新能源汽车有限公司
およびASFとの三者での記念撮影